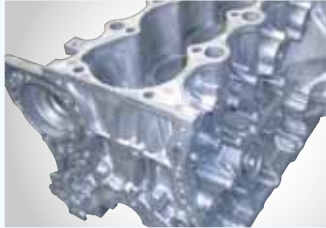


# Research, Service, Technology を追求していきます

アーレスティは、R・S・T〈Research〉〈Service〉〈Technology〉という三つの言葉の統合です。Rは単に研究・開発だけでなく、より一層お客様のお役に立っていくための創意と探求、Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点、そしてTはこのRとSを支える知識と技術を示しています。私たちは常に、より品質の高いResearch、Service、Technologyを追求し、さまざまな製品を通して、広く社会のお役に立ちたいと願っております。

## アーレスティの事業



### ダイカスト

高い技術を駆使し、自動車のエンジン、足回り、ボディなどのダイカスト製品を生産しています。



### アルミニウム合金地金

缶、サッシ、自動車スクラップなど、多様な原料をもとに、高品質のアルミニウム合金地金を生産しています。



### 完成品

コンピュータールーム、クリーンルームなどにおける最新のニーズにお応えする製品を開発・提供しています。

## Contents

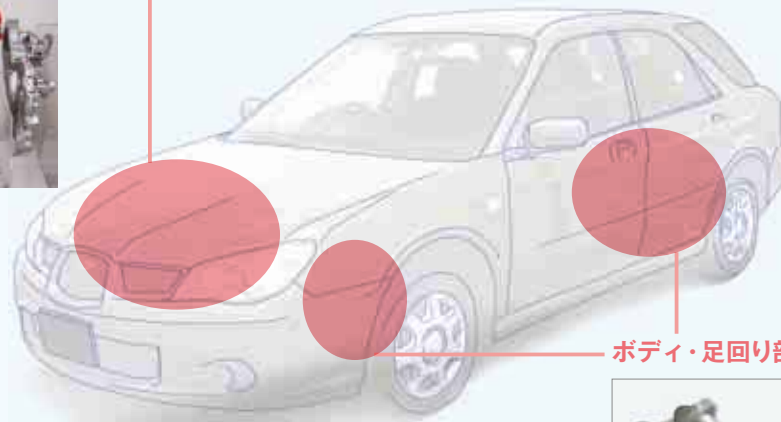
|            |   |           |    |
|------------|---|-----------|----|
| トピックス      | 3 | グローバル展開   | 9  |
| 連結財務ハイライト  | 4 | 事業の概況     | 11 |
| 株主・投資家の皆様へ | 5 | 企業の社会的責任  | 15 |
| 本部長メッセージ   | 7 | 企業情報／株式情報 | 18 |

## 私たちは、ダイカストのリーディングカンパニーです。

アーレスティは、自動車のエンジン、トランスミッションなどを中心に、様々なダイカスト製品を製造しています。近年では、自動車の軽量化ニーズに伴い、ボディ・足回り関連部品のダイカスト化を積極的に推進しています。

### パワートレイン

- エンジン
- トランスミッション



### ボディ・足回り部品



### あゆみ

- |           |  |           |  |
|-----------|--|-----------|--|
| 1938年 6月  | ● 当社の前身志村アルミニウム株式会社創立<br>アルミニウム合金地金、ダイカスト製品、<br>アルミニウム砂型鋳物の製造を開始 | 1988年 6月  | ● Ahresty Wilmington Corporationを設立                    |
|           |  | 10月       | ● 社名を扶桑軽合金株式会社より株式会社アーレスティに変更                          |
| 1943年 11月 | ● 扶桑軽合金株式会社を設立、ダイカスト製品、<br>アルミニウム砂型鋳物の製造を開始                      | 1989年 10月 | ● 株式会社アーレスティ'89年度デミング賞<br>実施賞(中小企業賞)受賞                 |
| 1960年 3月  | ● 株式会社日本精密金型製作所(現:株式会社<br>アーレスティ ダイモールド浜松)を設立                    | 1997年 2月  | ● Thai Ahresty Die Co., Ltd.を設立                        |
| 7月        | ● 扶桑軽合金株式会社浜松工場操業開始  | 3月        | ● 株式会社アーレスティISO9001(建材)<br>認証取得                        |
| 1961年 10月 | ● 扶桑軽合金株式会社の株式を東京証券取引所<br>第2部に上場                                 |           | ● 株式会社アーレスティISO9002(ダイカスト・<br>アルミニウム)認証取得              |
| 1962年 4月  | ● 東海精工株式会社(現:株式会社アーレスティ<br>プリテック)設立                              | 2001年 3月  | ● 株式会社アーレスティISO14001認証取得                               |
| 1963年 3月  | ● 京都ダイカスト工業株式会社豊橋工場<br>(現:東海工場)操業開始                              | 2002年 7月  | ● Thai Ahresty Engineering Co., Ltd.を設立                |
| 1971年 3月  | ● 栃木フソー株式会社(現:株式会社アーレスティ<br>栃木)を設立                               | 2003年 8月  | ● 広州阿雷斯提汽车配件有限公司を設立                                    |
| 1972年 3月  | ● 株式会社ダイテック(現:株式会社アーレスティ<br>ダイモールド栃木)を設立                         | 10月       | ● 京都ダイカスト工業株式会社と株式会社アーレスティが合併                          |
| 1976年 9月  | ● 熊本フソー株式会社(現:株式会社アーレスティ<br>熊本)を設立                               | 11月       | ● 第20回素形材産業技術表彰にて「経済産業大臣<br>賞」受賞                       |
| 1981年 3月  | ● 株式会社ダイテック熊本工場(現:株式会社<br>アーレスティ ダイモールド熊本)操業開始                   | 2005年 3月  | ● 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司を設立                                  |
| 1984年 7月  | ● 扶桑軽合金株式会社熊谷工場操業開始  | 4月        | ● パスカル工業株式会社と菅原精密工業株式会<br>社が合併し、社名を株式会社アーレスティ山形に<br>変更 |
| 8月        | ● 扶桑軽合金株式会社東松山工場操業開始   | 6月        | ● 本社を東京都中野区中央に移転                                       |
| 1985年 5月  | ● パスカル販売株式会社(現:株式会社アーレスティ<br>テクノサービス)を設立                         | 2006年 6月  | ● Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.を設立                    |
|           |  | 9月        | ● テクニカルセンター開設  |
|           |  | 2007年 1月  | ● Ahresty India Private Limitedを設立                     |
|           |  | 2010年 8月  | ● 合肥阿雷斯提汽车配件有限公司を設立                                    |
|           |  | 2011年 4月  | ● 浜松工場と豊橋工場を統合し、東海工場として再編                              |

【北米】

アーレスティウイルミントン 工場を増築し生産能力を増強

Ahresty Wilmington Corporationは、生産量増加に対応した能力増強のため、2013年4月より工場の増築工事を開始し、7月上旬に竣工予定です。今回の増築により、倉庫、出荷準備のスペースを新たに確保し、既存の工場内に鑄造機及び加工ラインの増設を行っています。設備の増設工事は、工場増築工事に先行して3月より開始し、11月頃にかけて行われます。

|                         |                |
|-------------------------|----------------|
| アーレスティウイルミントン<br>(建屋面積) | (鑄造機台数)        |
| 2013年6月現在 約32,844㎡      | 2013年6月現在 22台  |
| ※内、増築面積 約2,664㎡         | ※11月にかけて4台増設予定 |



アーレスティウイルミントン 工場全景と増築エリア

アーレスティメヒカーナ 鑄造、加工工場の拡張工事を竣工

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.は、新規受注への対応及び能力増強のために2012年春より進めていた、鑄造棟、加工棟の増築工事を10月に竣工しました。また、金型工場の増床工事も2013年1月に竣工し、金型メンテナンスエリアと金型製作エリアの一体化による金型の整備、製作能力の向上を図っています。

|                       |               |
|-----------------------|---------------|
| アーレスティメヒカーナ<br>(建屋面積) | (鑄造機台数)       |
| 2013年6月現在 約32,200㎡    | 2013年6月現在 22台 |
| ※内、増築面積 3,800㎡        |               |



アーレスティメヒカーナ拡張工事箇所

【アジア】

中国ダイカスト生産拠点の拡張

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司は、2010年8月に設立、2011年7月に稼働を開始し、2012年4月には加工工場が完成しました。隣接預留地の一部、20,500㎡を取得し、2012年12月より第3期拡張工事を進め、鑄造、加工工場を増築し増加する生産量への対応を図ります。竣工は2013年7月末を予定しています。

|                                  |
|----------------------------------|
| 合肥アーレスティ<br>(建屋面積)               |
| 2013年6月現在 21,700㎡                |
| ※内、増築面積 4,750㎡(鑄造工場)3,000㎡(加工工場) |

|              |
|--------------|
| (鑄造機台数)      |
| 2013年6月現在 7台 |



合肥アーレスティ拡張工事箇所 (6月現在)

広州阿雷斯提汽车配件有限公司は、2011年に取得した隣接地への新工場の建設を、2012年5月に着工し、2013年4月に第1期工事を竣工しました。これにより、近隣に賃借していた3つの工場を新工場に集約し、物流面等も含め、より効率的な生産を目指します。また、12月には新工場の第2期工事の着工を予定しております。

|                    |
|--------------------|
| 広州アーレスティ<br>(建屋面積) |
| ■第1工場 26,300㎡      |
| ■第2工場 10,400㎡      |
| ■新工場 16,000㎡(第1期)  |

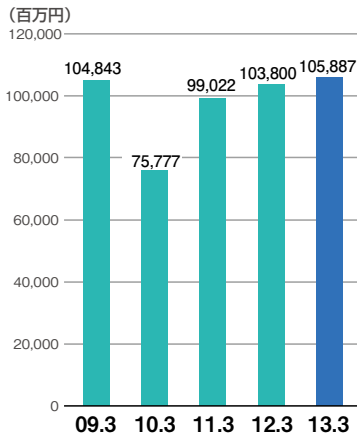
|               |
|---------------|
| (鑄造機台数)       |
| 2013年6月現在 31台 |



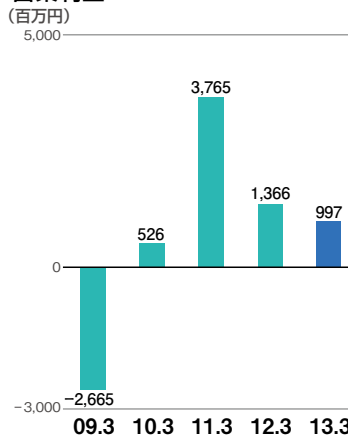
広州アーレスティ第1工場、新工場の全景と拡張工事箇所 (6月現在)

# 連結財務ハイライト

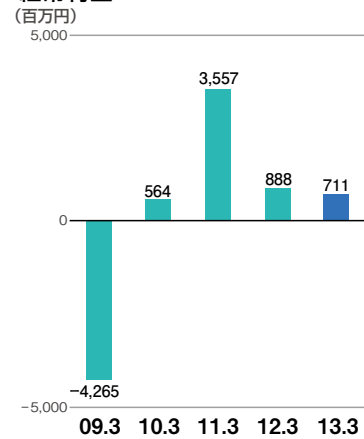
売上高



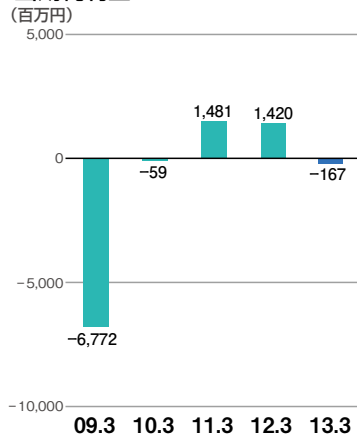
営業利益



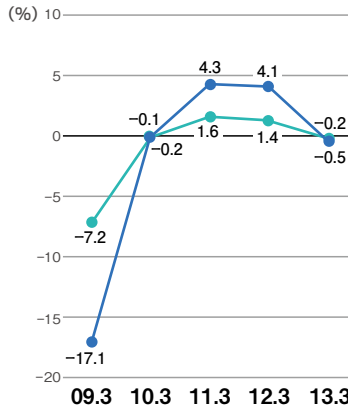
経常利益



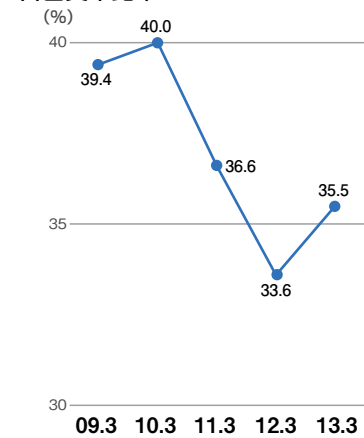
当期純利益



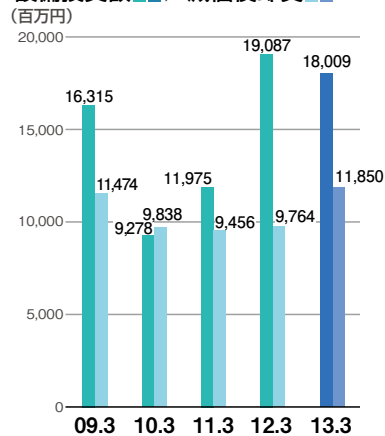
自己資本当期純利益率(ROE)  
総資産当期純利益率(ROA)



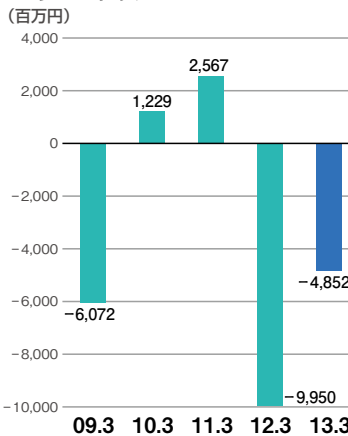
自己資本比率



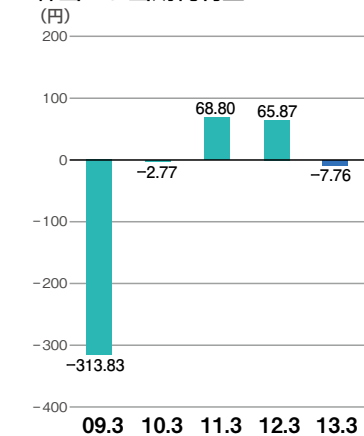
設備投資額<sup>※1</sup> / 減価償却費<sup>※1</sup>



フリー・キャッシュ・フロー<sup>※2</sup>



1株当たり当期純利益



※1 金額は金型を含みます。 ※2 フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー－投資活動によるキャッシュ・フロー

「ものづくりを究め、ものづくりを進化させる」を基本として



今年3月末、旧浜松工場の生産が終了いたしました。1938年に東京都板橋区で創業した町工場がオートバイ生産の拡大と共に成長し、1960年に生産を開始した浜松工場は当社にとって初めての本格的な大型ダイカスト工場でした。アーレスティの成長は浜松工場と、1971年生産開始のアーレスティ栃木の両大型工場がその多くを担ってきました。創業75周年を迎える2013年、国内需要減少への対応とは言え浜松工場の閉鎖は当社の社員や永年の成長を支えた多くのOB、取引先の皆さまにとって感慨深い出来事となりました。量産をしながらの豊橋地区への統合でしたので、二年という期間を掛けて慎重に進めました。おかげさまで、予定通りに統合が進みましたが、その一方では多くのお客様に工程変更など種々の手続きなどにご協力をいただきと共に、多くの社員に勤務先変更などご理解をいただきました。

二年前には浜松工場の閉鎖は少し早すぎるかとの思いもありましたが、円高と海外現地生産による国内需要

の減少スピードは早く、ダイカスト部門の売上は前年に比べて約45億円（約7%）減となりました。最近、円高の是正が急速に進んでおりますがダイカスト製品の国内需要減少傾向に歯止めは掛からず、2013年度も国内ダイカスト部門は29億円ほどの売上減少を予想しております。一方海外生産は旺盛な需要により拡大を続けており、海外ダイカスト売上は昨年度比71億円（22%）増となりました。2013年度は国内外売上がほぼ拮抗し、翌14年度には海外売上が国内を超えると予測しております。


このような環境下、2012年度の収益は期末の配当を見送るという不本意な結果となり、株主の皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしました。

国内はエコカー補助金の終了に伴う売上減少や東海工場統合に向けた浜松と豊橋の二重操業による想定以上の収益圧迫などにより減収減益となりました。海外では増収増益となりました。特に今年創立25周年を迎えるアメリカの工場は、米国自動車販売の増加に伴い増

収増益となりました。中国においても、新規製品の量産開始などにより売上と営業利益共に増加しましたが、下期の日系自動車の販売急減により営業利益に約6億円減もの影響を生じました。

国内売上の減少、海外需要急拡大への対応、インド、メキシコ、操業開始間もない中国合肥工場の収益改善など多くの課題を抱えておりますが、製造業としてのづくりに焦点を合わせた新10年ビジョン「ものづくり

を究め、ものづくりを進化させる」を基本に、グループ全体で改善と成長を続けてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

  
 代表取締役社長  
 最高執行責任者 高橋 新

### 新10年ビジョンと中期経営計画

当社グループの長期的な経営の方向性を示した「10年ビジョン」は、『すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルTOP企業』をめざすことを基本の方針としていました。この基本的な考え方を継承しつつ、ものづくりに焦点を当てた新たな「10年ビジョン」を2012年12月に策定し、「ダイカストを核としたグローバルTOP企業」となることを基本方針に、「ものづくりを究め、ものづくりを進化させる」ことをスローガンとしてあるべき姿を描き、具体的な指針・手段としての方針を定めております。

また新10年ビジョンをベースに、グローバルな需要拡大への対応をすべく、中国・北米を中心とした海外ダイカスト事業の拡大、国内需要の縮小を見据えた効率的な生産体制の確立を進めると共に、ものづくりに焦点を当てた方針を「1315 3カ年アーレスティ方針」として掲げ、次の4つを柱として、全従業員が積極的に活動し、計画達成を目指して全力で取り組みます。

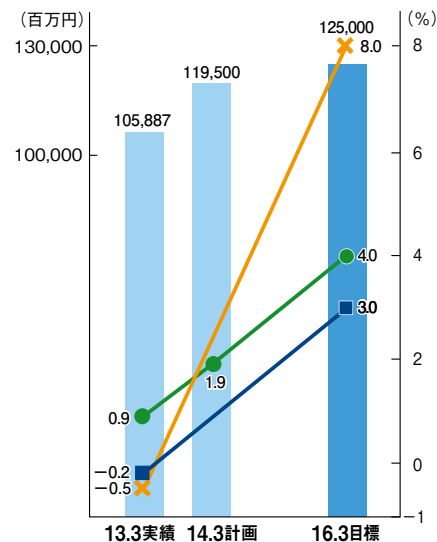
- ① **最善なものづくりの追求と共有** -----  
 現場と設計が一体となったものづくりの再構築、全拠点で同一の品質・生産性の実現、生産性の向上等の施策を展開
- ② **ものづくりの現場で活かす技術開発** -----  
 ものづくりを究めるための技術ロードマップにもとづく施策、パワートレイン以外の市場の開拓等の施策を展開
- ③ **ものづくりを支える人づくり** -----  
 実践に裏づけされたスキルを持つ人づくり、3現・2原に基づいた活動ができる技術者の育成等の施策を展開
- ④ **健全な利益追求** -----  
 収益力向上による持続的な企業成長と成長市場への展開、業務の効率化、投資効率の高い加工設備構想の実現、工程別・課別コストの見える化による収益管理レベルの向上等の施策を展開

ダイカストを核としたグローバルTOP企業  
**「ものづくりを究め、ものづくりを進化させる」**



### ■ 中期経営計画の目標値

- 連結売上高
- 売上高営業利益率
- 総資産当期純利益率 (ROA)
- 自己資本当期純利益率 (ROE)





## 海外生産拠点の自立化のための 横串機能の充実

私たちアールスティは、グローバル需要の拡大に対応すべく中国、北米を中心に海外ダイカスト事業を拡大してきました。その成果として、海外売り上げ比率が2013年度には約50%になる見込みであり、今後も増加してゆく計画をしております。すなわち、海外事業の役割が当社グループ経営においてより重要になってきます。

管理本部は、法務、人事、教育、標準、経営企画、経理、財務、安全、環境の分野の横串機能を有す

取締役専務執行役員  
管理本部長 石丸 博

るプロの集団です。そのような状況において、管理本部の各部門は、海外事業所の自立化のために横串機能をより積極的に活用し、アールスティグループの発展に寄与してゆきます。

## ものづくり ひとつづくり (着眼大局 着手小局)

これからの10年、その先も世界の自動車生産・販売は増えていくと予想されています。

当社が得意とするエンジン・ミッションなどのパワートレイン部品はまだまだ伸びていきます。

着眼大局 着手小局。ものごとを広く大きな視野から眺めて要点や本質を見抜き、具体的にひとつずつ実行を積み重ねて、ものづくりを究めていきます。

その活動をスピード感をもって進めることができるように、また、現場・現物・現実と原理・原則のもと

取締役専務執行役員  
製造本部長 野中 賢一

づいて実行できるよう、ひとつづくりを進めていきます。

日本、アメリカ、メキシコ、中国、タイ、インド、アールスティには6,000人をこえる人材がいます。その一人ひとりが能力を発揮できるように。

そして、ものづくりを進化させるつもりです。



## 2020年を視野に、 アールスティの成長路線を描く



13-15 3ヵ年アールスティ方針がスタートしています。営業本部では、当社主要顧客が益々グローバル化の流れを強め、現地生産、現地消費（新興国）の拡大が続くと予測しています。

2015年までの売上予測は10年ビジョンをほぼ予測範囲で到達できると考えています。

2020年を視野に、アールスティ成長路線をどの様な地域、どの様な顧客、どの様な部品群に託すのかを

常務執行役員  
営業本部長 金田 尚之

13年度中には策定したいと考えています。

その様な背景の中、各自のスキルアップがマスト条件です。リフレッシュ教育での業務改善や個々の管理項目を明確化しPDCAを廻すことの日常化を行っていきます。

自動車メーカーのグローバルでの成長戦略に貢献するため、2013年度も引き続き顧客満足度の向上を重点に営業活動を実行してまいります。



## 目指すのは、「ものづくりへのこだわりと追求」により 成長し続けるグローバル企業

当社は「ものづくり」の会社です。より良いものを効率良くつくり、適正な価格でタイミングよく顧客に提供する。そして、事業パートナーとしての高い評価と信頼を得ることで、名実共にグローバルTOP企業に成長していく。

その為に、グループ全体をまとめて各拠点の良さを伸ばし、改善と水平展開を続けながら最善な「ものづくり」の仕組みを作り上げ、常に最善の品質を追求する事が大切です。それが私共、品質保証本部の役割です。

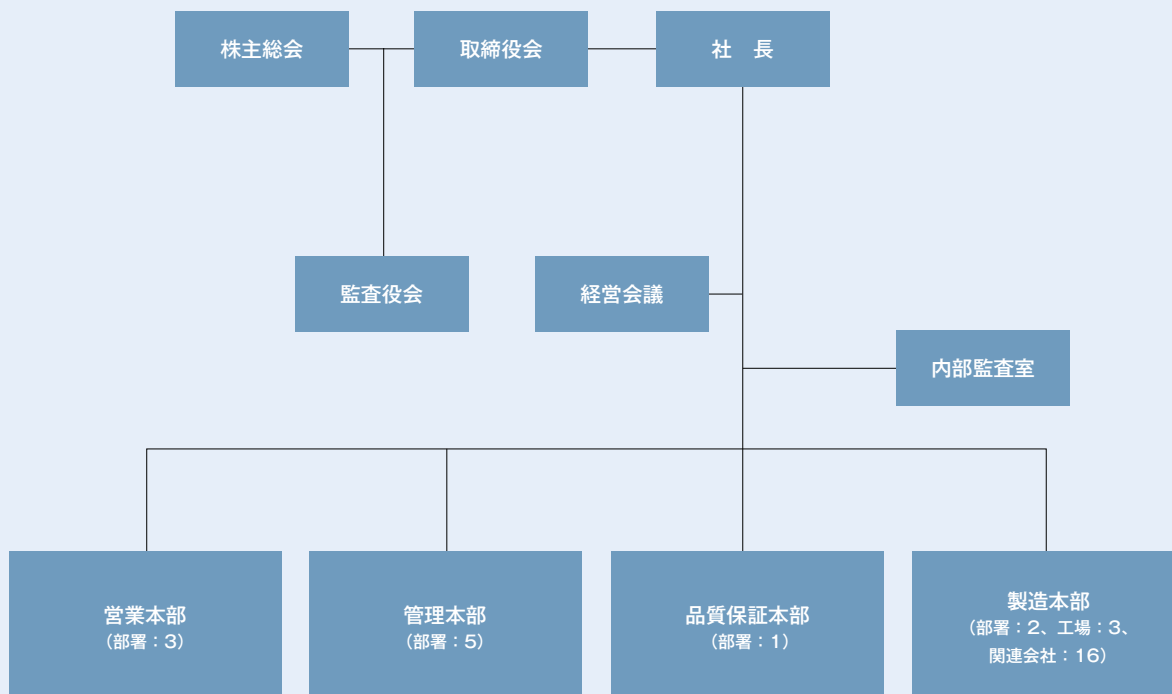
執行役員  
品質保証本部長 兼 品質管理部長 荒井 弘司

「品質は工程で作り上げる」ものだと私は考えています。最善の品質の追求のためには、実際に「ものづくり」を行っている現場力の向上を追求し続ける必要があります。

重要なのは、現場で働く方々の経験や気づき、発想などなのです。言わば魂を込めた「ものづくり」をする事です。現場力の向上を追求し続けてこそ同業他社を凌駕するグローバルTOP企業に成り得ると考えています。



アーレスティグループは、営業本部、管理本部、品質保証本部、製造本部の4本体制を採用しています。



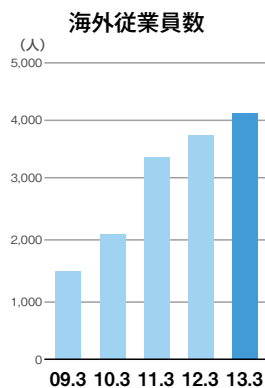
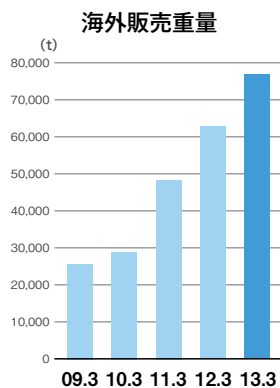
## 世界中のお客様のニーズに対応するため、積極的にグローバル展開を推進しています

より早く効率的にお客様に製品を安定供給するために、アレスティは積極的に海外展開を推進しています。アメリカ オハイオ州ウilmingtonに次ぎ、中国広州、メキシコ、インド、中国合肥にもダイカスト製造工場を設立し、順調に生産量を拡大しています。これまで培ってきた技術とノ

ウハウを活かし、高品質な製品をグローバルで製造・販売しています。また、タイ、広州、メキシコの金型拠点も含め、材料・金型・ダイカストなどすべての事業において相互補完体制を構築し、グローバルかつグループ・ワイドでの全体最適の実現を目指しています。



### 海外販売重量／従業員数推移





●Ahresty Wilmington Corporation

1989年から北米の拠点として機能。ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は1,500トン。

2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.



●広州阿雷斯提汽车配件有限公司

2004年度に操業開始。ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は2,600トン。

中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区新豊路7号



●合肥阿雷斯提汽车配件有限公司

2011年度操業開始。中国第二の製造拠点として、ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は700トン。

中華人民共和国安徽省合肥経済技術開発区青龍潭路2295号



●Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.

2007年度操業開始。米国のAhresty Wilmington Corporationとの生産補完により、ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付を担っています。月産能力は2,100トン。

Calle Industria Automotriz #20  
Complejo de Naves Industriales la Zacatecana  
Guadalupe, Zacatecas C.P.98600, Mexico



●Ahresty India Private Limited

2008年度操業開始。海外第4の拠点としてダイカスト製品製造・機械加工を担っています。月産能力は700トン。

Plot No. 194, Sector 4, Growth Centre, Bawal, Dist. Rewari, Haryana, India PIN 123501

※各工場の月産能力は2013年6月現在。

国内主要拠点



東松山工場  
〒355-0812  
埼玉県比企郡滑川町大字都25-27  
TEL.0493-56-4421



熊谷工場  
〒360-8543  
埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11  
TEL.048-533-5161



東海工場  
〒441-3153  
愛知県豊橋市二川町字東向山80  
TEL.0532-41-0511



株式会社アーレスティ山形  
〒992-0832  
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65  
TEL.0238-85-5233



株式会社アーレスティ栃木  
〒321-0215  
栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060  
TEL.0282-82-5111



株式会社アーレスティ熊本  
〒869-0521  
熊本県宇城市松橋町浦川内36  
TEL.0964-33-3111



テクニカルセンター  
〒441-3114  
愛知県豊橋市三弥町中原1-2  
TEL.0532-65-2170

## ダイカスト

### 他社に先駆けて新技術を開発 ダイカスト業界でトップレベルの信頼を獲得



アーレスティの主力事業はアルミニウムダイカストです。自動車産業の発展とともに事業規模を拡大し、売上を伸ばしてきました。

多様化するニーズに応える一方で、ダイカストのネック技術の原因解明を行ってきた結果、他社に先駆けて新技術を次々と開発。従来ダイカストでできなかったものづくりを可能にし、品質や生産効率を向上させるなど、ダイカスト業界での地位を確立しています。

今後も、アルミニウムダイカスト、マグネシウムダイカストにおいて、軽量化、リサイクルを通して環境保護に貢献できるように、さらなる技術革新を目指していきます。

#### 主要なダイカスト製品

アーレスティが生産するダイカスト製品の8割は四輪自動車の部品です。その他に、オートバイ、発電機や船外機部品なども製造しています。

- アルミダイカスト製品
    - ・エンジン用
    - ・トランスミッション用
    - ・足回り部品 など
  - マグネシウムダイカスト製品
  - 金型鋳物製品(グラビティーダイカスト)
- その他
- ダイカスト用金型
  - ダイカスト周辺設備
  - 中古ダイカストマシン再生販売

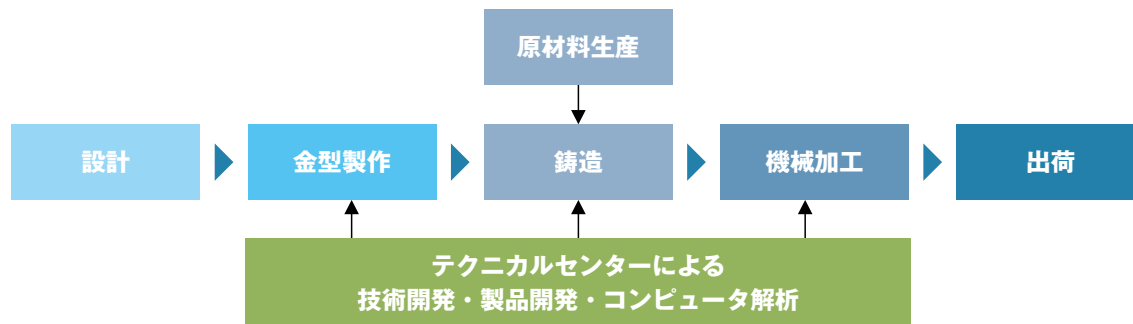
#### ダイカスト製品の特徴

ダイカストのダイ(Die)は金型、キャスト(Cast)は鋳物を意味しますが、一般的な意味のダイカストは、金型を用いて高速、高圧鋳造した鋳物やその製法を表します。

ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鋳肌が美しいことです。

表面が滑らかな製品を製造することができるため、その後の加工処理が少なく済む利点があります。ダイカストのそのような特徴から複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

### アーレスティのダイカスト生産体制 ～原材料生産から機械加工までの一気通貫生産体制～



## 今期の業績報告

### 【ダイカスト日本】

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、上期はエコカー補助金の効果による販売増加や東日本大震災の復興需要等に支えられ生産が増加しましたが、下期はエコカー補助金の終了及びアジアや欧州向けを中心とした自動車輸出減少の影響等により生産が減少しました。当社においては、主に輸出向け製品の受注減少等の影響を受け、売上高は60,630百万円(前期比6.9%減)となりました。収益面においては、売上高の減少及び東海工場の集約に伴う一時的な費用増の影響等によりセグメント利益は601百万円(前期比58.9%減)となりました。

### 【ダイカストアジア】

アジアでは、平成23年夏より中国合肥における新拠点が操業開始した影響に加え、中国広州及びインドにおいても新規製品の量産が本格化したことにより受注が増加し、アジアでの売上高は16,736百万円(前期比22.0%増)となりました。収益面においては、インド及び合肥での先行投資による固定費の増加影響等によりセグメント損失は521百万円(前期はセグメント損失504百万円)となりました。

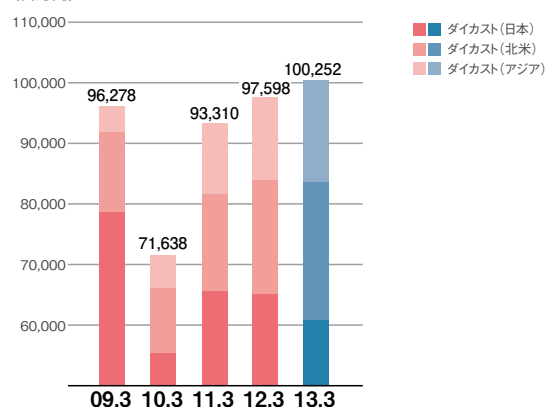
## 来期への展望

人口減少等による内需の縮小、国内自動車メーカーの海外生産移転の拡大等により、国内ダイカスト需要は更に縮小するものと予想されます。需要に見合った効率的な生産体制を確立すべく、浜松工場、豊橋工場の東海工場としての集約・再編を進め、2013年3月に浜松工場の生産を終了しました。2013年度下期以降で具体的な集約の効果を見込んでいます。一方、海外においては中長期的にも、新興国を中心とした自

### 【ダイカスト北米】

北米では、東日本大震災の影響により減少した主要顧客からの受注が回復し、アメリカでの緩やかな景気回復の下、自動車販売も好調である事から受注が増加し、売上高は22,886百万円(前期比22.0%増)となりました。収益面においては、受注増の影響や前期にメキシコで発生していた生産対応の遅れによる費用を削減したこと等により、セグメント利益は744百万円(前期比136.7%増)となりました。

売上高推移  
(百万円)



動車需要の増加、先進国における需要回復、軽量化によるアルミダイカスト採用増により、ダイカスト需要は拡大していくものと見込まれます。

当社グループは、従来よりも投資を抑制しつつも中国、北米を中心とした海外ダイカスト事業の拡大を進め、それと共に、引き続き国内外の生産性の改善、コスト低減活動を推進し、収益改善を図ります。

## アルミニウム合金地金

### 業界トップクラスの設備とノウハウで、 多様な材料から高品質の製品を生産



アーレスティ熊谷工場は、1958年、業界初の日本工業規格（JIS）表示許可工場に認定され、1997年には、改正民活法におけるアルミニウム缶リサイクル施設として、全国で初めて通産省から認定を受けました。アルミニウム缶、サッシ、自動車の解体スクラップなど、多様な原料をもとに機械的性質に優れたアルミニウム合金地金を生産しています。アーレスティが持つ最新の設備、卓越したリサイクルのノウハウによって、工業用地金として活用されています。アルミニウムインゴットの月産能力は3,000トン。日本各地へと出荷され、高い信頼を得ています。

#### 今期の業績報告

アルミニウム事業においては、受注量は年間を通じて堅調に推移したことにより、売上高は3,840百万円（前期比2.6%増）となりました。収益面においては、主として円高等を原因とした市況販売価格の低迷があったものの、受注増や原価低減活動による一定の効果が得られたことにより、セグメント利益は50百万円（前期はセグメント損失42百万円）となりました。

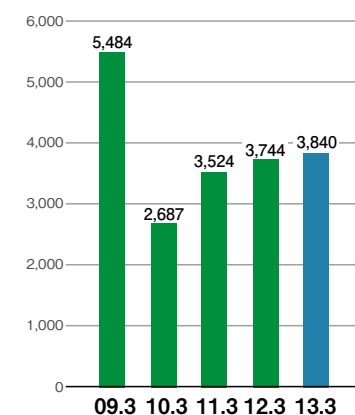
#### 来期への展望

昨年末以降、為替が円安に振れたことで割高となった輸入二次合金の流通量が急減し、国内塊の引き合いが強くなっています。今後暫くは国内二次合金の需要が堅調に推移するものと思われます。

但し、円高是正による影響として重油、電気、都市ガス等

のエネルギー価格の上昇も懸念され、かつ需要回復に伴う使用原材料の品不足や価格高騰等の懸念もあるため、より一層の原価低減や業務効率改善活動に尽力して体質強化を図っていきます。

売上高推移  
(百万円)



## 完成品

### 各方面で導入が進むフリーアクセスフロア時代のニーズに応じて次々と新製品を開発



1962年、アーレスティは日本で最初のアルミニウムダイカスト製のフリーアクセスフロアパネル「モバフロア」を開発しました。フリーアクセスフロアとは、配線・配管を床下に納める二重床システムのことです。一般オフィスや病院などに幅広く利用されていますが、当社では特に半導体生産工場などのクリーンルームやデータセンター、コンピュータールーム用フロアパネルに注力しています。

#### 今期の業績報告

完成品事業においては、国内シェアは増加したものの、主要販売先である半導体関連企業の設備投資が低調であることに加え、通信会社のデータセンター向け物件の需要が前期に比べ減少したこと等により、売上高は1,793百万円（前期比27.0%減）となりました。収益面においては、売上減少の影響があったものの原価低減活動の成果により、セグメント利益は78百万円（前期比8.4%増）となりました。

#### 来期への展望

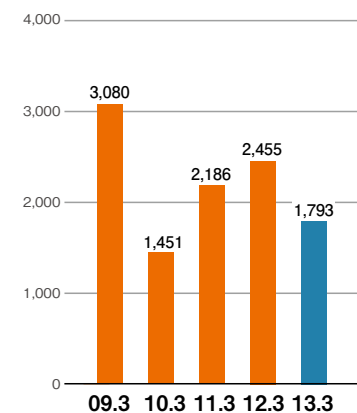
国内データセンター市場としては世界の動向と同様に、IT（情報技術）の進化により更に高度な分析が出来る様になり、取り扱うデータ量が増える見通しです。これによりデータセンター施設の建設も増える傾向にあると見ています。これらのニーズに応える為、拡販を図る考えです。

国内クリーンルーム市場については、市場規模が今後数年は少なくとも鈍化するものと考えていますが、その中でも日本の最先端技術を維持・進化させるなど、半導体メーカー及

び電気メーカー各社の思惑もある様です。これらのニーズに応える為、企業努力を重ね、当社商品を販売してお客様に貢献したいと考えています。

一方、海外に関しては、中国、東南アジアを中心にクリーンルーム建設やデータセンター施設の建設が今後も期待できる事から、グローバルで拡販し、お客様に貢献出来る様に進めていきます。

売上高推移  
(百万円)



## 環境負荷をできるかぎり減らす努力を重ね、「環境にやさしい企業」を目指しています

アーレスティでは、美しい地球環境を守るために、私たちが持つ技術の応用、環境に配慮した製品づくりなどの面から、一步一步環境保全活動を続けています。原料からつくる場合の約3%のエネルギーで再生できるアルミニウムは「リサイクルの優等生」と呼ばれ、自動車の軽量化を通してCO<sub>2</sub>削減に貢献するなど、環境にや

さしい性質を持った金属です。

私たちは循環型社会を推進するリサイクル事業と、廃棄物ゼロ活動や省エネ・省資源、LCA(Life Cycle Assessment)などに積極的に取り組むことによって「環境にやさしい企業」の実現を目指しています。

### 環境・社会報告書2013

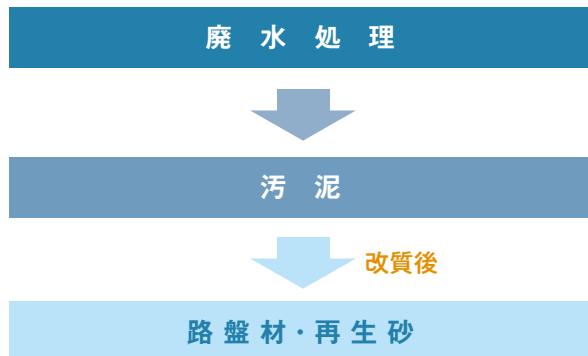


アーレスティでは、毎年、環境・社会報告書を発行しています。事業活動を通じた環境への取り組みをステークホルダーの皆様にご理解いただけるよう努めています。

### 環境保全への配慮

廃棄物ゼロ工場を目指し、廃棄物再資源化に取り組んでいます。従来埋め立て処分されていた汚泥を、路盤材や再生砂にリサイクルできるようにしたことが一例です。

リサイクル一例



### ISO14001 認証取得



下記の事業所等でISO14001:2004認証を取得し、環境保全に貢献しています。

#### ISO14001:2004 認証取得

本社  
東海工場  
東松山工場  
熊谷工場  
テクニカルセンター  
株式会社アーレスティ栃木  
株式会社アーレスティ熊本  
株式会社アーレスティ山形  
株式会社アーレスティプリテック  
株式会社アーレスティダイモールド浜松  
株式会社アーレスティダイモールド栃木  
株式会社アーレスティダイモールド熊本  
株式会社アーレスティテクノサービス



## 社会に貢献していく企業であるために… そのための努力を絶えることなく続けていきます

アーレスティでは、全従業員が社会貢献の重要性を認識し積極的に諸活動に参画する企業風土を構築するため、従業員の社会貢献活動を支援しています。工場や営業所周辺の美化活動や近隣河川のクリーン活動、間伐や植栽等の森林整備を行う里山ボランティアや森づくり活動の企画推進の他、従業員が社外団体で福祉活動や献血などに

対しても、これらを行った社員に対しアーレスティエコポイントを付与し、表彰しています。

私たちは企業市民として積極的に社会貢献活動に参加し、地域社会との交流を通して地域の活性化に協力していきます。



近隣河川のクリーン活動への参加（アーレスティテクノサービス）



フラワーロードおよび河川アダプト活動（アーレスティ山形）



アーレスティの森作り活動（関東地区）



工場周辺地域の清掃活動（東海工場）



岩屋緑地里山づくりボランティア（東海工場）



遠州灘海岸清掃活動への参加（アーレスティダイモールド浜松）



工場周辺地域の清掃活動（アーレスティ栃木）



本社周辺清掃活動

## コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、顧客・株主／投資家・従業員・取引先・社会というすべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業を目指すためにも、企業価値の継続的な向上が重要であることを認識し「競争力の強化」「透明性の高

い健全な経営」の観点より、コーポレート・ガバナンスの充実を図りながら経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築するべく推進してまいります。

## コンプライアンス

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、「コンプライアンス基本方針」を制定し、役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

また、コンプライアンス委員会事務局を設置し、企業活動を行うにあたって適用される法令をはじめ、企業倫理、社内規定を遵守する体制を強化しています。

### コンプライアンス基本方針

- ① 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- ② 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- ③ 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- ④ 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- ⑤ 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- ⑥ 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- ⑦ 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- ⑧ 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動をします。
- ⑨ 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動をします。
- ⑩ 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。



## アーレスティグループ行動規範

日常の業務遂行において遵守すべき基本的事項を定めた「アーレスティグループ行動規範」を制定しています。

- ① 法令等の遵守（規範の趣旨・遵守の責任に関する規程）
- ② 顧客・取引先との関係（自由競争と公正な取引等に関する規程）
- ③ 株主・投資家との関係（企業情報、インサイダー取引等に関する規程）
- ④ 従業員との関係（人権尊重、プライバシーの保護等に関する規程）
- ⑤ 会社財産・情報の管理（企業秘密、知的財産等に関する規程）
- ⑥ 社会との関係（寄付行為、政治献金等に関する規程）
- ⑦ 実施要領について

## 企業情報

### 会社概要 (2013年3月31日現在)

商号：株式会社アーレスティ  
設立：1943年11月2日

資本金：51億1,759万円  
従業員数：【連結】6,406名 【単独】901名

### 役員

#### ■取締役および監査役の氏名(2013年6月20日現在)

|                    |      |               |       |       |        |
|--------------------|------|---------------|-------|-------|--------|
| 代表取締役社長<br>最高執行責任者 | 高橋 新 | 取締役<br>専務執行役員 | 野中 賢一 | 常勤監査役 | 見目 康夫  |
| 取締役<br>専務執行役員      | 石丸 博 | 取締役<br>常務執行役員 | 蒲生 新市 | 常勤監査役 | 古屋 茂   |
|                    |      | 社外取締役         | 原 隆   | 社外監査役 | 早乙女 唯夫 |
|                    |      |               |       | 社外監査役 | 志藤 昭彦  |

## 株式情報 (2013年3月31日現在)

### 株式数および株主数

発行可能株式総数：60,000,000株

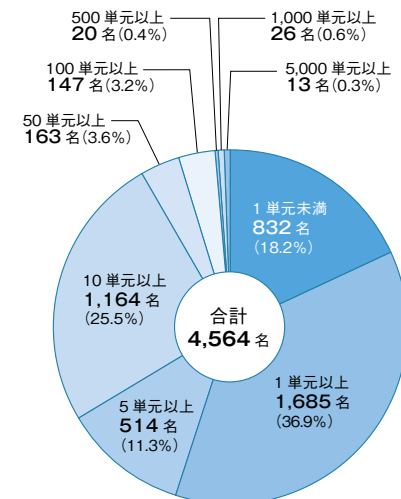
発行済株式の総数：21,778,220株

株主数：4,564名

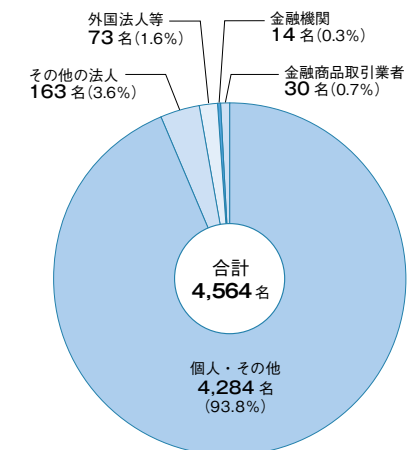
### 大株主 (上位10名)

| 株主名  | 持株数(千株) |
|--|---------|
| 高橋 新   | 915     |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行  | 765     |
| 本田技研工業株式会社   | 672     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社<br>(信託口)                                      | 664     |
| 日本軽金属株式会社  | 657     |
| HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG<br>KONG BRANCH - CLIENT ACCOUNT | 647     |
| アーレスティ取引先持株会   | 644     |
| MSCO CUSTOMER SECURITIES   | 618     |
| ザバンクオブニューヨークジャスティック<br>ノントリーティアアカウント                               | 592     |
| スズキ株式会社  | 565     |

### 所有株数別株主分布



### 所有者別株主分布





〒 164-0011  
東京都中野区中央 1-38-1  
住友中野坂上ビル 11F  
TEL.03-5332-6001  
FAX.03-5332-6037  
URL.<http://www.ahresty.co.jp>